

平福父子と その弟子たち展



平福穂庵『溪山新霽』(二曲一双屏風)



平福百穂『老松』



西宮禮和『五月風景』(個人蔵)



岡田琴湖『軍鶏図』(個人蔵)



倉田松濤『魚藍観音之図』(双幅)(個人蔵)



竹村篁邨『山水図』(個人蔵)



小野崎大凌『無題』(屏風)

令和8年

4.7_(火)—6.21_(日)

休館日 / 毎週月曜日 ※4月13日, 20, 27, 5月4日は開館

開館時間 / 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

料金 / 大人500円 小人300円 ※仙北市民は無料

※桜まつり期間中は駐車場が有料となります

仙北市立角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4

TEL.0187-54-3888 FAX.0187-54-3890

平福父子とその弟子たち展

みちのくの小京都・角館。

この地から、近代日本画の歴史に名を残した二人の画家が生まれました。

徹底した写生で独自の画境を開いた父・穂庵。

その精神を受け継ぎ、知性と詩情で日本画を革新した子・百穂。

そして、彼らの背中を追い、その筆に学んだ弟子たち。

師から弟子へ、父から子へと受け継がれた「真実を描く」という情熱。

角館の風土が育んだ美の系譜を、ぜひその目でご覧ください。



三森山静『牧童』(個人蔵)



平福穂庵

平福 穂庵 (ひらふく すいあん)

1844年(弘化元年)～1890年(明治23年)

幕末の角館に生まれる。京都で画を学び、徹底した写生に基づく独自の画風を確立。明治初期の日本画壇において、その写実的な表現で名声を博した。

【略歴】

- ・1844年：角館の染物屋の長男として誕生。
- ・1861年頃：京都へ遊学し、円山四条派の画風を学ぶ。
- ・1880年：第3回秋田県博覧会にて1等を受賞。
- ・1890年：第3回内国勸業博覧会で代表作《乳虎図》が妙技二等賞を受賞。同年、46歳で没。



平福穂庵『西園雅集』(襖4枚組)



平福穂庵『蘭亭曲水』(襖4枚組)



平福百穂

平福 百穂 (ひらふく ひやくすい)

1877年(明治10年)～1933年(昭和8年)

穂庵の四男。東京美術学校(現・東京藝大)に学び、自然主義的な写生画を推進。歌人としても名高く、知性的で格調高い作品を数多く残した。

【略歴】

- ・1877年：穂庵の四男として角館に誕生。
- ・1899年：東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業。
- ・1916年：「金鈴社」を結成し、日本画の革新運動を展開。
- ・1930年：帝国美術院会員となる。東京美術学校教授も歴任。
- ・1933年：横手にて客死。56歳で没。



平福百穂『木槿の頃』



寺澤孝太郎(黙雨)『青巒松林』(個人蔵)

仙北市立角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 TEL.0187-54-3888 FAX.0187-54-3890

